

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 27 年 5 月 29 日現在

機関番号：10102

研究種目：基盤研究(B)

研究期間：2011～2014

課題番号：23330176

研究課題名(和文) 児童福祉施設所蔵資料の分析による第一次少年教護法制下における教護事業の実証的研究

研究課題名(英文) Historical research on reform schools at the time of 1933 Education and Protection for Juvenile Delinquents and Child Independence Act (Syonen Kyogo-ho)

研究代表者

二井 仁美 (Nii, Hitomi)

北海道教育大学・教育学部・教授

研究者番号：50221974

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 12,900,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、感化院、少年教護院、教護院を前身とし、非行少年や寄り辺なき子どもを対象とする児童自立支援施設の歴史研究の一環である。とくに、本研究では、1933年に制定された少年教護法の施行時代に焦点をあて、同法制度下において子どもと子どものための諸機関がいかなる状態であったかに焦点をあてた。そのために、本研究では、若駒学園、修徳学院、国立武蔵野学院等の児童福祉施設が所蔵する史料の調査を実施し、そこで発見された重要な記録史料の分析により、少年教護法制期における少年教護院の状態と、子どもの保護と非行の早期発見に努める少年教護委員の活動について明らかにした。

研究成果の概要(英文)：We investigated the history of the pre-war reform schools at the time of the 1933 Education and Protection for Juvenile Delinquents and Child Independence Act that were called "Kankain" or "Syonen Kyogoin". We focused on the state of the children and the agencies for them at the time of the enforced "Syonen Kyogo-ho". We found important records and documents which belonged to some of them, such as the prefectural Wakakoma-gakuen and Syutoku-gakuin, plus the national Musashino-gakuin. By analysis of those documents we clarified their situations and the activities of their support communities (Syonen Kyogoin) for child protection and the early detection of juvenile delinquency.

研究分野：教育学・教育史

キーワード：少年教護法 感化院 少年教護院 少年教護委員 池田千年 菊池俊諦 奈古屋登槌 早川春香

1. 研究開始当初の背景

「不良行為」を為す児童等に対する教育と保護の歴史研究の状況は、法務省管轄の少年院に比して、厚生労働省管轄の児童自立支援施設について史料に基づいた基礎的把握が立ち遅れている。前者に関しては、矯正協会編『少年矯正の近代的展開』(1984年)をはじめとする基礎的史料の整理に基づき当該史料集が編纂され通史的叙述が存在するが、後者については、基礎的史料の発掘整理も途上であり、それらに基づく通史的叙述は依然、重要な課題である。近年、研究が進捗してきた、感化法制定前や感化法施行期を別とすると、少年教護法制期における少年教護事業に関しての実証的研究はほとんどなかったといえることができる。

申請者は、「不良少年」「非行少年」等と呼ばれた子どもの教育や福祉・司法に関わる諸問題の歴史の解明を目的に据え、感化法制下の感化院の実態を法制度の改変との関係において分析した(二井2010)。その作業を通して、感化院長らが自ら草案し法案成立に関わった少年教護法制下における施設の実態と、それに関わる関係者の働きの解明が、近代日本の「不良行為」を為す児童等に対する教育と保護の歴史研究に不可欠であり、既往の研究におけるそのような少年教護法制期における少年教護事業の実態把握には、史料的制約があることを認識してきた。それゆえ、申請者と研究分担者山崎・石原は、2007～2010年度基盤研究Bにおける調査により少年教護法の成立過程を検討し、それらの研究では、北海道家庭学校、大阪府立修徳学院、社会福祉法人武田塾等の児童福祉施設が所蔵する資料の所在調査を進め、一部の施設では未整理文書を整理し所蔵目録の作成と関係資料集を作成した。しかし、それ以外の施設においても資料調査と酸性化や虫害による劣化に対する保存が喫緊の課題であり、かつ少年教護法施行期における当該事業の実態解明が課題として残されていることを認識した。

2. 研究の目的

本研究では、これまでの調査において検討されてこなかった児童自立支援施設を中心に児童福祉施設所蔵資料の所在調査を実施し、感化教育・少年教護教育に関する基礎資料の保存を進めると共に、感化院長等の運動によって成立した少年教護法制下において、少年教護院の状態や少年教護委員の活動が如何なるものであったかを、実証的に解明することを目的とする。

3. 研究の方法

少年教護法施行期の少年教護院の運営や少年処遇のありようを記録した児童自立支援施設等所蔵資料について、所在調査、目録作成、渉猟と主要資料のピックアップ、撮影・影印本化を行う。これらの資料にくわえて国立武蔵野学院資料室、矯正図書館、

国立および県立公文書館などの関連資料と平成22年度までの研究で得た資料を対象に、少年教護法施行期における当該事業の実態について分析する。

4. 研究成果

(1) 児童自立支援施設所蔵資料集の作成

鹿児島県立若駒学園、福岡県立福岡学園、群馬県立ぐんま学園、佐賀県立虹の松原学園、北海道家庭学校、国立武蔵野学院、兵庫県立土山学園において、所蔵する史料の調査を実施した。その内、感化院時代から少年教護院時代における鹿児島県立牧ノ原学校の職員日誌をはじめとする未整理状態の貴重な資料の存在を確認できた鹿児島県立若駒学園において、資料の目録を作成のうえ、少年教護法制期を含む感化教育・少年教護教育に関する重要歴史文書の影印本資料集を作成した。

また、国立武蔵野学院初代院長菊池俊諦による少年教護法制期に関わる自筆手帖や原稿をデジタル撮影により渉猟し、菊池に関する影印本資料集を作成した。

さらに、児童福祉法制定後は、子どもの労働問題として扱われた事柄は、少年教護法施行期には未分化のまま保護児童として扱われてきており、子どもの労働に関する資料調査を実施し、入手の困難な文献を収集し当該資料集を刊行した。

(2) 少年教護法施行期における当該事業の検討

児童自立支援施設等が所蔵する少年教護法制期を中心とする資料群の分析から、以下の成果を得た。

第一に、早川春香・池田千年の系譜に係る鹿児島県立若駒学園が所蔵する感化法および少年教護法施行期における牧ノ原学校関係資料の分析により、感化教育における宗教の扱いについて新事実が明白となった。すなわち、同校では、県立施設でありながら日曜学校や「洗足式」「洗礼式」を挙行しキリスト教を中心とする感化教育を展開した初代校長奈古屋登樾引退後、仏教徒である第二代校長を経て、少年教護法施行期に、第三代校長としてキリスト教徒である岩川済一が就任したが、キリスト教的儀式を復活させることはなかった。

第二に、少年教護法制定により新たに設置された少年教護委員の活動について、大阪府立修徳学院所蔵資料と国立公文書館所蔵資料、大阪府議会資料等を用いて分析した。その結果、少年教護委員は、全国的な活動としては地域差が大きかったが、大阪においては極めて熱心に少年教護委員が活動しており、各小学校区毎に少年教護委員を任命し、学校長との協力のなかで「少年の不良化」の早期発見に努め定期的な会議を持つと共に、少年教護院との関係においても積極的な活動を行っていたことを確認した。このような活動

については大阪市議会においても報告されており、少年教護法施行が感化法時代とは異なる状況を生み出していたことを確認し、これらの成果について、2015年度における関係学会において、研究発表を行う準備を進めている。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕(計6件)

二井仁美「感化教育におけるキリスト教鹿児島県立牧ノ原学校の洗礼式と洗足式に注目して」『基督教学』48巻、2013年、5-23頁、査読無

二井仁美「児童自立支援施設における史料保存の試み 歴史を後世に伝えるために」『刑政』1455号、2013年、42-53頁、査読無

山崎由可里「少年教護法案成立経緯に関する研究：法案内容の変遷に着目して」『和歌山大学教育学部紀要 教育科学』和歌山大学教育学部紀要委員会編、62号、2012年、101-107頁、査読無

山崎由可里「池田千年の保護教育論(1)」『和歌山大学教育学部教育実践総合センター紀要』21号、2011年、115-124頁、査読無

石原剛志「日本の児童福祉研究における『児童の権利』認識の課題」『子どもと福祉』4号、2011年7月、140-145頁、査読無

石原 剛志,長沼 友兄,二井 仁美,山崎由可里他1名「座談会 感化教育史研究の到達点と今後の課題 (特集 感化教育史研究の現在)」『淑徳大学長谷川仏教文化研究所年報』36号、2011年、1-57頁、査読無

〔学会発表〕(計3件)

山崎由可里「感化院の入所規定と入所児童の実態に関する研究」日本特殊教育学会第51回大会、2013年8月30日、明星大学(東京都)

二井仁美「感化教育におけるキリスト教鹿児島県立牧ノ原学校の洗礼式と洗足式に注目して」基督教学会、2012年7月16日、北海道教育大学(北海道旭川市)

山崎由可里「池田千年の保護教育論」第49回日本特殊教育学会、2011年9月23日、弘前大学(青森県弘前市)

〔図書〕(計23件)

石原剛志、二井仁美、相澤仁他 34名『施設における子どもの非行臨床 児童自立支

援事業概論』明石書店、2014年、33-38頁、50-58頁、151-154頁(総262頁)

石原剛志編『戦後初期人身売買/子ども労働問題資料集成(子どもの労働資料)』六花出版、2014年、第7巻総頁354頁、第9巻総頁404頁、第10巻総頁348頁

石原剛志、二井仁美、山崎由可里編『矯正図書館所蔵菊池文庫所蔵資料』1巻、石原剛志、二井仁美、山崎由可里刊、442頁、2014年

石原剛志、二井仁美、山崎由可里編『矯正図書館所蔵菊池文庫所蔵資料』2巻、石原剛志、二井仁美、山崎由可里刊、778頁、2014年

石原剛志、二井仁美、山崎由可里編『矯正図書館所蔵菊池文庫所蔵資料』3巻、石原剛志、二井仁美、山崎由可里刊、653頁、2014年

石原剛志、二井仁美、山崎由可里編『矯正図書館所蔵菊池文庫所蔵資料』4巻、石原剛志、二井仁美、山崎由可里刊、666頁、2014年

石原剛志、二井仁美、山崎由可里編『矯正図書館所蔵菊池文庫所蔵資料』5巻、石原剛志、二井仁美、山崎由可里刊、806頁、2014年

石原剛志、二井仁美、山崎由可里編『矯正図書館所蔵菊池文庫所蔵資料』6巻、石原剛志、二井仁美、山崎由可里刊、678頁、2014年

石原剛志、二井仁美、山崎由可里編『矯正図書館所蔵菊池文庫所蔵資料』7巻、石原剛志、二井仁美、山崎由可里刊、604頁、2014年

石原剛志、二井仁美、山崎由可里編『矯正図書館所蔵菊池文庫所蔵資料』8巻、石原剛志、二井仁美、山崎由可里刊、1-889頁、2014年

石原剛志、二井仁美、山崎由可里編『矯正図書館所蔵菊池文庫所蔵資料』9巻、石原剛志、二井仁美、山崎由可里刊、556頁、2014年

石原剛志、二井仁美、山崎由可里編『矯正図書館所蔵菊池文庫所蔵資料』10巻、石原剛志、二井仁美、山崎由可里刊、462頁、2014年

山崎由可里他 24 名『論集現代日本の教育史 3』辻本雅史監修、日本図書センター、2013 年、578-600 頁（総 618 頁）

石原剛志、二井仁美、山崎由可里編『鹿児島県立若駒学園所蔵資料』1、石原剛志、二井仁美、山崎由可里刊、2013 年、387 頁

石原剛志、二井仁美、山崎由可里編『鹿児島県立若駒学園所蔵資料』2、石原剛志、二井仁美、山崎由可里刊、2013 年、440 頁、

石原剛志、二井仁美、山崎由可里編『鹿児島県立若駒学園所蔵資料』3、石原剛志、二井仁美、山崎由可里刊、2013 年、456 頁

石原剛志、二井仁美、山崎由可里編『鹿児島県立若駒学園所蔵資料』4、石原剛志、二井仁美、山崎由可里刊、2013 年、446 頁

石原剛志、二井仁美、山崎由可里編『鹿児島県立若駒学園所蔵資料』5、石原剛志、二井仁美、山崎由可里刊、2013 年、321 頁

石原剛志、二井仁美、山崎由可里編『鹿児島県立若駒学園所蔵資料』6、石原剛志、二井仁美、山崎由可里刊、2013 年、488 頁

石原剛志、二井仁美、山崎由可里編『鹿児島県立若駒学園所蔵資料』7、石原剛志、二井仁美、山崎由可里刊、2013 年、338 頁

①石原剛志、二井仁美、山崎由可里編『鹿児島県立若駒学園所蔵資料』8、石原剛志、二井仁美、山崎由可里刊、2013 年、1265 頁

②石原剛志他 11 名『現代日本の学童保育』旬報社、2012 年、113-138 頁（総 286 頁）

③石原剛志、相澤仁、柏女霊峰、澁谷昌史『子どもの養育・支援の原理 社会的養護総論』明石書店、2012 年、89-93 頁（総 251 頁）

6. 研究組織

(1) 研究代表者

二井仁美 (NII, Hitomi)
北海道教育大学・教育学部・教授
研究者番号：5 0 2 2 1 9 7 4

(2) 研究分担者

山崎由可里 (YAMASAKI, Yukari)
和歌山大学・教育学部・教授
研究者番号：6 0 3 2 2 2 1 0

石原剛志 (ISHIHARA, Tuyoshi)
静岡大学・教育学部・教授
研究者番号：1 0 3 4 0 0 4 3